

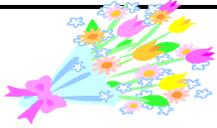


林野庁 北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション 第37号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。



標茶町立中茶安別小中学校へ 「国民の森づくり感謝状」を伝達



北海道森林管理局では、地域の国有林において森林づくり活動などに積極的に取り組まれ功績のあった方々に対して、平成18年度から「国民の森づくり感謝状」を贈呈しています。

平成21年度は、標茶町立中茶安別小中学校（釧路支庁管内）北海道林業技師会、北見市立常呂小学校の3団体に感謝状が贈呈されました。



校長室にて児童生徒会長の江本瑞稀さん（中2）に感謝状を贈呈（伝達）

3月8日（月）
贈呈（伝達）の様子

写真左から

- ・湊谷教頭先生
- ・岩本校長先生
- ・江本瑞稀さん
- ・中島センター所長



江本瑞稀さんは「これまで学校林活動を一生懸命やってきて良かった。学校林活動は楽しいです。」と話していました。

キルギス共和国



JICAの研修員が炭焼きを視察！

3月5日（金）JICA（国際協力機構）からの受託研修による「キルギス国別研修（森林経営コース）」の研修員7名がパイロットフォレストを訪れました。

キルギス共和国では、ヨーロッパアカマツなどの針葉樹に虫害が発生しており、虫害にあった樹木を炭として有効利用するため、今回の簡易炭焼き窯の視察が計画されました。

当センターでは、パイロットフォレストに設置しているドラム缶型簡易炭焼き窯の構造や炭焼きの手順等について説明し、研修員の皆さんにドラム缶簡易炭焼きを実際に体験していただきました。

研修員の皆さんは熱心な質問を繰り返し、「貴重な体験でした」、「炭焼きは、いつも必ず成功するものではないと知った」、また、炭焼きの経験のある研修員は「炭の出来映えを確認する窯だしの瞬間が一番楽しみだ！」などと話していました。

《これまでの活動内容》

中茶安別小中学校は、平成12年から教職員、保護者、児童・生徒が一体となって維持管理を行っている学校林「るるんフォレスト」において、植樹活動や森林環境教育を行っています。国有林内にある自然再生事業地をフィールドとした自然再生学習会も釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターと連携して行っています。



「るるんフォレスト」での森林教室

平成20年には、根釧西部森林管理署が行ったパイロットフォレスト国有林（標茶町、厚岸町）での植樹イベントに参加し、カラマツなどを植樹しました。「るるんフォレスト」植樹後の記念撮影



また、中茶安別小中学校では、小学1年生から中学3年生までの9年間、恵まれた自然と関わり合える教育環境と、教師や友達と心を通わせて合って学べる小規模校の特色を生かした森林環境教育を行っています。



ドラム缶型簡易炭焼き窯に
炭の材料を入れる研修員

茶路小中学校（小学生）卒業記念 木工品製作を支援

3月16日（火）～19日（金）白糠町立茶路小中学校を卒業した小学6年生5名が卒業の記念としてヤチダモの板で本棚作りを行いました。この学校では、毎年、6年生が卒業を記念してベンチやテーブル、看板などさまざまな木工品を制作してきました。今年「何か心に残るもの」と、幅1.8m、高さ1.1mの本棚を釘を使わずに作る技術に挑戦しました。

始めに鉛筆で大きな板に、切断や凹凸の削り部分の印をつけました。切断には鋸を、凹凸の削りにはトリマーと言う電気工具をそれぞれ使用しました。子供たちは、初めて使用する工具（トリマー）にとまどいを見せていましたが、木が凹凸に削られる様子を見て驚いていました。

生徒達は、凹凸の部分を組み合わせ、段々と本棚に仕上がっていく様子に達成感を感じながら、黙々と凹凸部分の組み込み（凹凸部分をヤスリで微調整し結合する）に取り組んでいました。仕上げは、みんなで塗装を施し無事終了しました。

トリマーに挑戦



完成間近の本棚



雷別地区自然再生事業地における野生動物自動撮影調査結果（2月調査分）



キタキツネ
ウサギ

エゾクロテン

当ふれあいセンターでは、雷別地区自然再生事業地において2月4日～2月25日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。

アナログ式カメラ（フィルム撮影）の現像が終了しましたので報告します。

今回は、キタキツネ、エゾクロテン、ウサギが撮影されました。12月実施時に撮影されたエゾタヌキ、エゾシカは今回撮影されませんでした。

エゾタヌキは穴にこもり冬を越しているようです。エゾシカは雪の影響か別の場所に良いえさ場を見つけたものと思われる。



左の3枚は、同一箇所で3日間《16日～18日》ほぼ同じ時間（午前5時前後）に撮影されました。

第5回『雷別ドングリ倶楽部活動』

「樹木の冬芽観察&平成22年度活動内容の協議」

3月17日（水）今年度最後の雷別ドングリ倶楽部の活動「樹木の冬芽観察」を、会員16名が参加して根釧西部森林管理署及び春採湖周辺の森で行いました。その後、室内に場所を移して、平成22年度雷別ドングリ倶楽部活動内容について協議しました。

冬芽の観察では、森林管理署の前庭にあるミズナラ、ダケカンバ、ナナカマド、オニグルミなどの冬芽を観察しました。春採湖周辺の森では、チョウセンゴヨウマツ、モンタナマツなどあまり見かけない針葉樹も観察しました。

平成22年度雷別ドングリ倶楽部活動の協議では、「継続会員のほか新たな会員募集を行う」、「年5回の活動を行う」、「森林ボランティア養成講座への積極的な参加を行う」ことなどを決め、今年度最後の活動を終わりました。



冬芽の観察

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

